

第42回 豊川市地域公共交通会議 資料

<目 次>

1. 【報告事項（１）】豊川市コミュニティバスの運行実績
2. 【協議事項（１）】豊川市コミュニティバスのバス停名称の変更
3. 【協議事項（２）】OD調査の概要
4. 【協議事項（３）】形成計画・路線の評価指標
5. 【協議事項（４）】デマンド型交通の実証実験（案）
6. 【協議事項（５）】車両更新に伴うコミュニティバス車両の移動円滑化基準適用除外

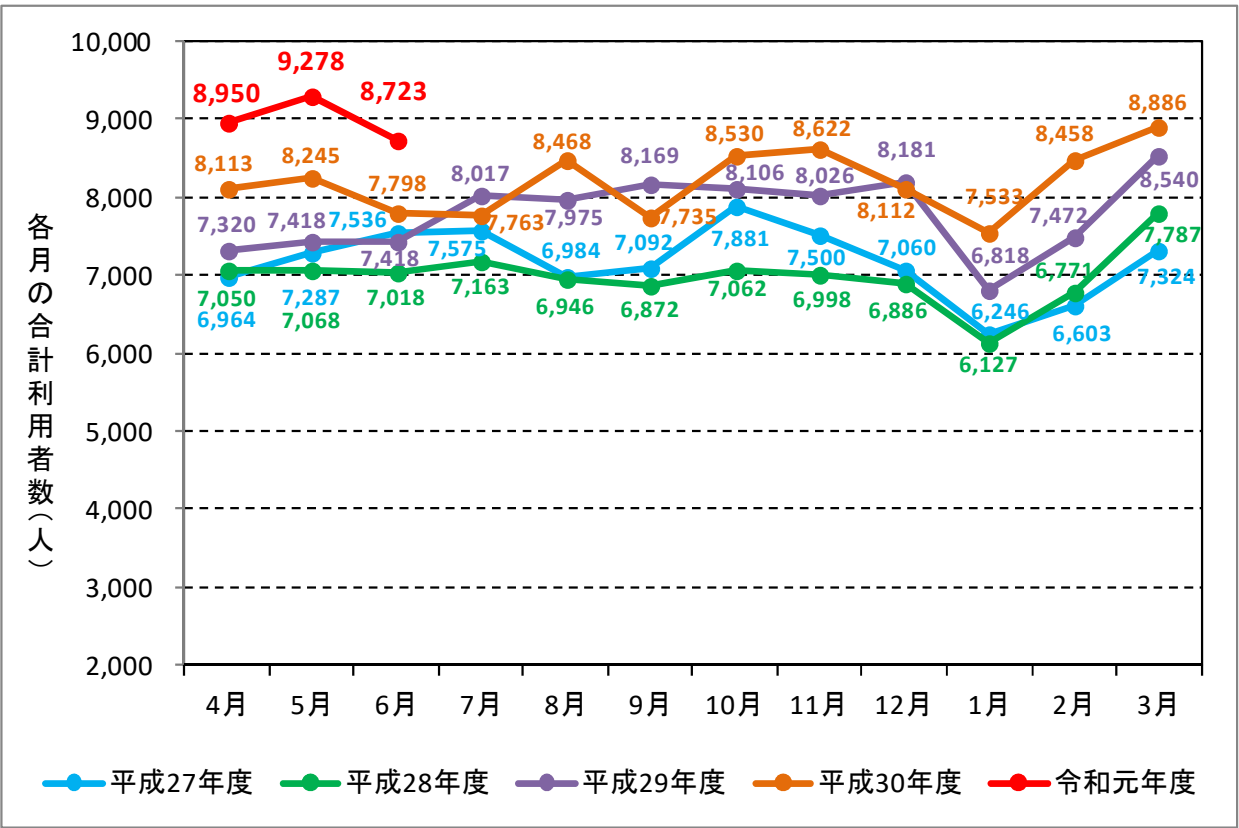
令和元年8月9日

1. 【報告事項（1）】豊川市コミュニティバスの運行実績

1-1. 豊川市コミュニティバス利用者数の推移

新たな体系で運行を始めた平成28年10月以降においては、利用者数が前年同月より下回る状況が続きましたが、次第にその減少幅は小さくなり、平成29年2月以降からは対前年同月を上回るようになりました。

令和元年度の4～6月は前年同月を上回りました。運行開始から令和元年6月までの92ヶ月間の総利用者数は約64.7万人となっています。



豊川市コミュニティバスの利用者数

※ 路線の主な見直し

- 平成24年10月 1日：一宮地区地域路線の路線変更
(2路線<東回り、西回り>に1路線<中回り>追加)
- 平成24年10月 1日：御油地区地域路線の運行開始
(1日6便による運行で、御油地区と国府駅を結ぶ路線で運行開始)
- 平成25年 5月 1日：豊川市民病院の移転に伴う路線再編
(豊川国府線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線の市民病院の経由)
- 平成26年 5月 1日：御油地区地域路線の運行本数の変更
(1日6便から8便へ増便)
- 平成27年 5月 1日：御津地区地域路線の路線変更
(路線を5路線から7路線へ分割し、放射状の路線形態へ変更)
- 平成28年10月 1日：ダイヤ及び運行本数の変更、運賃体系の変更
(豊川国府線、音羽線、御津線は豊川市民病院以東を減便し、豊川市民病院以西を増便、ゆうあいの里小坂井線は最終便を減便)

1-2. 路線別の月別利用者数の推移

平成28年10月から新たな体系で運行を始め、令和元年度の4～6月は平成30年度の同月合計を上回っています。路線別でみると、基幹路線6路線、地域路線4路線の計10路線全てにおいて、令和元年度の4～6月の利用者数は平成30年度の同月合計を上回っています。

平成29年度路線別の利用者数推移														H28との比較	
路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成29年度合計	増減数	増減率
豊川国府線	853	973	973	1,049	832	1,036	917	968	919	795	869	1,010	11,194	806	7.8%
千両三上線	989	1,011	1,046	1,118	1,054	1,072	988	1,025	1,017	836	848	1,081	12,085	556	4.8%
ゆうあいの里小坂井線	861	782	789	908	965	996	947	959	1,054	929	949	1,041	11,180	2,414	27.5%
一宮線	1,000	1,084	1,082	1,151	1,057	1,043	1,187	1,261	1,195	1,010	1,307	1,342	13,719	1,734	14.5%
音羽線	735	793	790	852	900	898	941	885	979	711	880	963	10,327	1,282	14.2%
御津線	694	762	697	657	805	715	727	684	726	632	676	857	8,632	1,183	15.9%
つつじバス (音羽地区地域路線)	868	729	713	851	1,012	953	996	861	909	673	715	869	10,149	169	1.7%
ハートフル号 (御津地区地域路線)	270	275	282	226	164	263	315	332	283	255	287	288	3,240	124	4.0%
本宮線のんほい号 (一宮地区地域路線)	525	481	460	600	588	575	471	484	411	426	453	488	5,962	-180	-2.9%
ごゆりんバス (御油地区地域路線)	525	528	586	605	598	618	617	567	688	551	488	601	6,972	1,624	30.4%
合 計	7,320	7,418	7,418	8,017	7,975	8,169	8,106	8,026	8,181	6,818	7,472	8,540	93,460	9,712	11.6%

平成30年度路線別の利用者数推移														H29との比較	
路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成30年度合計	増減数	増減率
豊川国府線	944	974	940	948	977	840	905	921	803	853	1,012	963	11,080	-114	-1.0%
千両三上線	1,018	1,037	1,020	975	1,083	1,013	1,115	1,096	1,039	853	1,016	1,126	12,391	306	2.5%
ゆうあいの里小坂井線	1,005	1,019	1,037	932	1,049	876	984	999	1,005	998	968	1,189	12,061	881	7.9%
一宮線	1,117	1,154	1,057	1,100	1,194	1,126	1,268	1,385	1,168	1,110	1,295	1,249	14,223	504	3.7%
音羽線	1,049	1,062	988	949	1,060	901	1,005	1,007	1,051	865	948	1,051	11,936	1,609	15.6%
御津線	722	754	718	732	839	744	752	712	707	656	739	734	8,809	177	2.1%
つつじバス (音羽地区地域路線)	872	830	765	812	951	876	816	755	778	657	758	852	9,722	-427	-4.2%
ハートフル号 (御津地区地域路線)	313	332	250	239	139	229	331	336	287	283	330	287	3,356	116	3.6%
本宮線のんほい号 (一宮地区地域路線)	434	462	439	464	483	525	620	621	597	712	726	751	6,834	872	14.6%
ごゆりんバス (御油地区地域路線)	639	621	584	612	693	605	734	790	677	546	666	684	7,851	879	12.6%
合 計	8,113	8,245	7,798	7,763	8,468	7,735	8,530	8,622	8,112	7,533	8,458	8,886	98,263	4,803	5.1%

令和元年度路線別の利用者数推移														H30との比較	
路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和元年度合計	増減数	増減率
豊川国府線	940	932	1,010										2,882	24	0.8%
千両三上線	1,107	1,151	1,149										3,407	332	10.8%
ゆうあいの里小坂井線	1,143	1,207	1,082										3,432	371	12.1%
一宮線	1,273	1,388	1,197										3,858	530	15.9%
音羽線	1,002	1,101	1,070										3,173	74	2.4%
御津線	786	740	749										2,275	81	3.7%
つつじバス (音羽地区地域路線)	1,006	892	830										2,728	261	10.6%
ハートフル号 (御津地区地域路線)	319	373	377										1,069	174	19.4%
本宮線のんほい号 (一宮地区地域路線)	715	747	579										2,041	706	52.9%
ごゆりんバス (御油地区地域路線)	659	747	680										2,086	242	13.1%
合 計	8,950	9,278	8,723	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,951	2,795	11.6%

2. 【協議事項（1）】豊川市コミュニティバスのバス停名称の変更

2-1. 一宮地区地域路線（本宮線のんはい号：中回り）「宮前橋」バス停名称の変更

地域からの提案により、一宮地区地域路線（中回り）の「宮前橋」のバス停名称を下記のとおり変更します。

また、名称の変更については一宮地域公共交通運営協議会において協議済みです。

バス停位置、運行ダイヤの変更はありません。

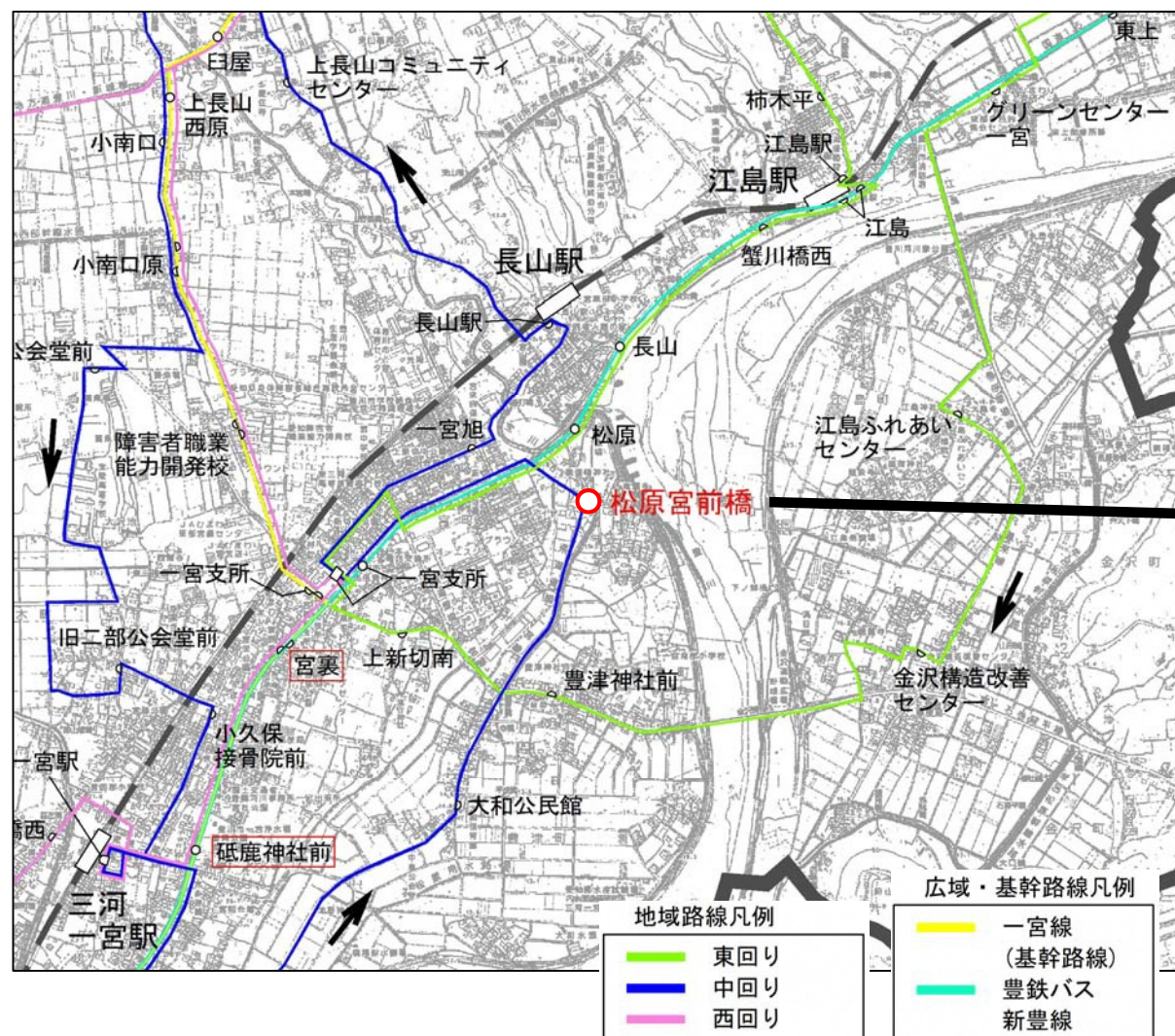
なお、名称の変更は、令和元年10月1日を予定しています。

＜一宮地区地域路線＞

- ・ 変更前の名称：宮前橋
- ・ 変更後の名称：松原宮前橋



現在の宮前橋バス停



3. 【協議事項（２）】OD調査の概要

3－１．調査の目的

平成２８年１０月の豊川市コミュニティバスの路線・運賃体系変更後の効果の継続的な検証、豊川市コミュニティバス利用者の移動実態の把握と豊川市コミュニティバスと豊鉄バスや鉄道との乗継状況及び共通１日フリー乗車券の利用状況を把握するために実施します。

3－２．調査の概要

（１）調査の種類

バス利用者OD調査

（２）調査対象路線

- ・豊鉄バス（新豊線・豊川線）
- ・豊川国府線
- ・千両三上線
- ・ゆうあいの里小坂井線
- ・一宮線
- ・音羽線
- ・御津線
- ・音羽地区地域路線（つつじバス）
- ・御津地区地域路線（ハートフル号）
- ・一宮地区地域路線（本宮線のんほい号）
- ・御油地区地域路線（ごゆりんバス）

（３）調査日（案）

① 豊鉄バス 新豊線・豊川線

２日間調査を実施予定（終日全便を対象に実施）

平日調査日：令和元年１０月１５日（火）（予備日：１０月１７日（木））

休日調査日：令和元年１０月１９日（土）（予備日：１０月２０日（日））

② 基幹路線（豊川国府線、千両三上線、ゆうあいの里小坂井線、一宮線、音羽線、御津線）
地域路線（音羽地区地域路線、御津地区地域路線、一宮地区地域路線、御油地区地域路線）

５日間調査を実施予定（終日全便を対象に実施）

調 査 日：令和元年１０月１５日（火）～１９日（土）の５日間

（４）OD調査の方法

- ・豊鉄バス（新豊線・豊川線）、豊川国府線、一宮線は、調査員が各路線の全便に乗り、利用者に対して聞き取りを行い、調査員がOD調査カードに記入します。
- ・その他の基幹路線・地域路線は、運転手に依頼して車内でOD調査カードを配布し、利用者に記入をお願いします。

3－３．調査の項目

昨年度から路線体系に変更はありませんので、以下に示すように、昨年度と同じ設問の構成とします。

項目	内容等
設問1	乗ったバス停
	乗る前に利用した公共交通
	降りるバス停
	降りた後に利用する公共交通
設問2	出発地と目的地
設問3	バスの運賃支払いの方法
設問4	バスの利用目的
設問5	バスの利用頻度
設問6	性別
設問7	年齢

3－４．調査票

OD調査カード（調査票）は、調査路線ごとにA４サイズの両面印刷で作成します。
豊川国府線を例にしたOD調査カードの案は、次頁に示すとおりです。

●バス利用乗降調査カード（OD調査）

豊川国府線用

ご乗車ありがとうございます。バス乗降調査を実施しています。調査にご協力をお願いいたします。

問1：乗り降りしたバス停・乗換えの状況

① 乗ったバス停と降りるバス停について、1つずつ○を付けてください。

② バスに乗る前の移動手段、バスを降りた後の移動手段について、1つずつ□に☑を付けてください。

バス停 No	バス停名	乗ったバス停 【1つに○】	バスに乗る前の 移動手段 【1つに☑】	降りるバス停 【1つに○】	バスを降りた後の 移動手段 【1つに☑】
1	ゆうあいの里				
2	平尾市民館				
3	上藤井		●名鉄線から乗車 □名古屋方面 □国府方面 □豊橋方面 □豊川稲荷方面		●名鉄線へ乗車 □名古屋方面 □国府方面 □豊橋方面 □豊川稲荷方面
4	駒場				
5	豊川特別支援学校				
6	六光寺		●JR線から乗車 □豊橋方面 □新城方面		●JR線へ乗車 □豊橋方面 □新城方面
7	八幡大池				
8	上宿		●豊鉄バスから乗車 □豊橋方面 □新城方面		●豊鉄バスへ乗車 □豊橋方面 □新城方面
9	国府駅				
10	上宿東				
11	佃		●千両三上線から乗車 □上千両方面 □三上方面		●千両三上線へ乗車 □上千両方面 □三上方面
12	筋違橋				
13	横道		●一宮線から乗車 □本宮の湯方面		●一宮線へ乗車 □本宮の湯方面
14	八幡町				
15	豊川市民病院		●ゆうあいの里 小坂井線から乗車 □西小坂井駅方面 □ゆうあいの里方面		●ゆうあいの里 小坂井線へ乗車 □西小坂井駅方面 □ゆうあいの里方面
16	名鉄八幡駅				
17	野口町				
18	諏訪西町		●音羽線から乗車 □市役所方面 □グリーンル方面		●音羽線へ乗車 □市役所方面 □グリーンル方面
19	文化会館				
20	新道町		●御津線から乗車 □市役所方面 □あかね児童館方面		●御津線へ乗車 □市役所方面 □あかね児童館方面
21	下野川				
22	保健センター		●御油地区地域路線 から乗車 □御油方面		●御油地区地域路線 へ乗車 □御油方面
23	豊川体育館前				
24	豊川市役所前				
25	免許センター前		●鉄道、バス以外 □バス停まで徒歩 □バス停まで自転車 □バス停まで送迎 □その他 ()		●鉄道、バス以外 □バス停から徒歩 □バス停から自転車 □バス停から送迎 □その他 ()
26	中央通4丁目				
27	横佐				
28	稲荷前				
29	豊川駅前				

ウラ面へ続きます

豊川国府線用

問2：出発地と 目的地

右の四角の中に
ご記入ください。

出発した場所や施設名

これから行く場所や施設名

記入例：自宅（〇〇町）、豊川市民病院、文化会館、〇〇商店

問3：本便のバスの運賃支払い方法は何ですか？（あてはまる全てに○）

1. 現金 2. 回数券 3. 乗継券
4. 共通1日フリー乗車券
5. その他（ ）

問4：本便のバスの主な利用目的は何ですか？（1つに○）

1. 買い物 2. 通院 3. 娯楽・社交・食事
4. 趣味・習い事 5. 通勤 6. 通学 7. 帰宅
8. その他（ ）

問5：バスの利用頻度はどのくらいですか？（1つに○）

1. ほぼ毎日 2. 1週間に2～3度
3. 1週間に1回程度 4. 1か月に1回程度
5. 1年に数回 6. 初めて利用した

問6：性別（1つに○）

1. 男性 2. 女性

問7：年齢（年齢を記入）

（ ） 歳

調査員記入欄： 月 日 時 分ごろ乗車

ご協力ありがとうございました

4.【協議事項（3）】形成計画・路線の評価指標

4－1．今年度以降のスケジュール

今回の会議では、評価項目、評価指標(案)までを示します。

令和元年度は、評価指標のデータ整理・分析を行い、現状と課題の整理と現形成計画の取り組みの成果・評価の整理を行い、将来像、基本方針、目標の設定と公共交通路線体系のあり方を検討します。

令和2年度に形成計画としての具体的な取り組みの検討と並行して、バス路線見直しの検討を行います。

次期形成計画は令和3年3月の策定・公表を目指し、バスの見直し路線での運行開始は令和3年10月を目指し、とりまとめを進めます。

4－2．評価の考え方

豊川市地域公共交通網形成計画の最終年度の目標に対し、平成30年度時点の実績はいずれも未達成になっていますが、平成28年10月の路線・運賃体系の見直しにより、利用者数は増加傾向で推移しています。また、豊川市地域公共交通網形成計画で取り組む11の事業は、実施済みまたは実施中の状況です。

そのような中、路線別の収支率や利用者1人あたりの市負担額をみると、路線によって差が大きい現状にあります。

評価にあたっては、利用者数が増加傾向で推移する良い傾向の中でも、現状の課題・問題点を見つけることを目的として実施し、様々な評価指標を用いてチェックします。

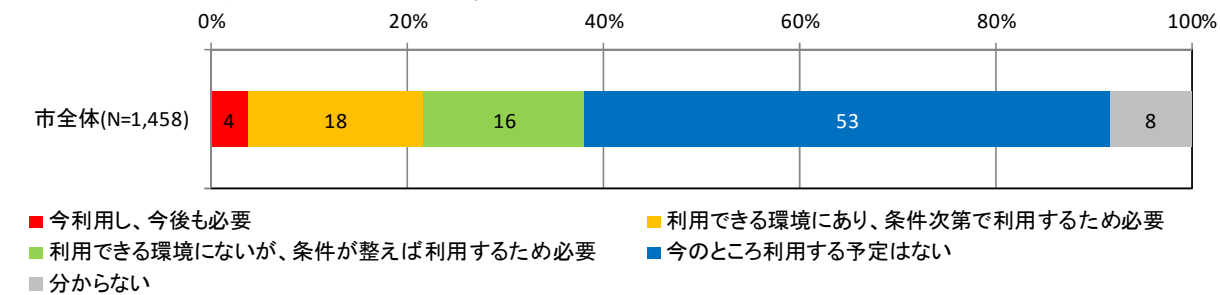
年月		次期地域公共交通網形成計画 策定に関するスケジュール	路線見直し及び利用促進に関する スケジュール
令和元年度	4～6月	・形成計画及び路線の評価項目と評価指標(案)	・デマンド型交通調査等検討 ・標準的なバス情報フォーマット作成
	7～9月	・現状と課題の整理 ・現形成計画の総括と取り組みの成果・評価の整理	
	10～12月	・将来像、基本方針、目標の設定 ・公共交通路線体系のあり方の検討	・デマンド型交通実証実験 ・路線、運行計画見直しの方向性検討
	1～3月	・次期地域公共交通網形成計画の素案作成	
	相互に関連付けながら検討		
令和2年度	4～6月	・目標達成のための交通施策検討	・具体的な運行ルート、運行ダイヤ、運賃体系等の検討
	7～9月	・次期地域公共交通網形成計画の修正素案作成	
	10～12月	・パブリックコメントの実施 ・次期地域公共交通網形成計画のパブリックコメント反映案	・運行計画の最終承認
	1～3月	・次期地域公共交通網形成計画(案)の最終承認 (公表：令和3年3月～)	・認可申請 ・周知・広報、住民説明 (運行開始：令和3年10月～)

豊川市地域公共交通網形成計画の目標と達成状況				
目 標		平成30年度 実績	数 値 目 標	達成状況
			令和2年度	
目標1	市内を運行するバス路線の利用者数の増加	98,263人/年	13万人/年	未達成
目標2	公共交通の利便性の市民満足度の向上	43.4%	52%	未達成
目標3	地域主体で検討したバス路線の運行実施地域数の増加	4地域	6地域	未達成
目標4	市内を運行するバス路線の収支率の向上	11.4%	17%	未達成

路線名	収支率 【(B+E)/(A)】			利用者1人あたり市負担額 【(D)/(F)】		
	H30	H29	H30-H29	H30	H29	H30-H29
	%	%	%	円/人	円/人	円/人
豊川国府線	8.46%	8.94%	▲ 0.49%	1,166	1,198	▲ 32
千両三上線	16.91%	16.59%	0.33%	739	753	▲ 15
ゆうあいの里小坂井線	15.76%	14.82%	0.94%	690	738	▲ 48
一宮線	9.38%	13.31%	▲ 3.93%	634	613	21
音羽線	13.56%	11.74%	1.82%	832	971	▲ 138
御津線	9.46%	9.82%	▲ 0.37%	1,210	1,223	▲ 13
基幹路線計	12.10%	12.25%	▲ 0.15%	851	890	▲ 39
音羽地区地域路線	12.98%	13.78%	▲ 0.80%	1,132	1,075	57
御津地区地域路線	4.40%	4.33%	0.07%	2,662	2,760	▲ 98
一宮地区地域路線	8.42%	7.57%	0.85%	1,009	1,063	▲ 54
御油地区地域路線	12.38%	11.01%	1.37%	1,228	1,404	▲ 176
地区地域路線計	9.94%	9.62%	0.31%	1,314	1,367	▲ 53
合計	11.36%	11.35%	0.01%	982	1,024	▲ 42

4－3．評価のターゲットの考え方

バスの必要性は市民によって意識の違いがありますので、評価指標の整理の際には、市民全体としての整理に加えて、それぞれの市民意識の層ごとで整理を行い、取り組みのターゲット層を明確にします。



バスの必要性の回答構成：公共交通に関する市民アンケート

4－4．評価指標（案）と活用目的

評価の実施にあたっては、評価の視点を「個々の路線単位の評価」、「路線ネットワーク全体の評価」、「市民・地域・利用者視点の評価」の3つに分類します。その上で豊川市内のバス路線網の特性や形成計画の目標を考慮して、評価項目と評価指標(案)を用いて評価を行います。各評価指標(案)の活用目的とアンケート調査などから見える傾向を、次頁以降に示しました。

評価の視点	評価項目	評価指標(案)	評価指標の活用目的
個々の路線単位の評価	路線の利用者数に関する評価	バスを必要とする路線沿線の人口に対するバス利用率	バス利用意向がある沿線住民の人数に応じた利用がなされているかを評価
	運行効率に関する評価	路線別の収支率 利用者1人当たりの負担額	利用実態に見合った効率的な運行がなされているかを評価
路線ネットワーク全体の評価	路線体系の評価	主な移動方向に対する路線網の有無	市民の移動ニーズと路線体系が合っているかを評価
		移動方向の区間単位での1日・1便平均の利用者数	利用実態に対して、運行本数や運行系統が合っているかを評価
	乗継に関する評価	現在の交通結節点での乗継利用者数・乗継待ち時間	交通結節点において、移動ニーズに合った乗継利便性が確保されているかを評価
市民・地域・利用者視点の評価	地域への効果に関する評価	沿線住民の外出機会の変化	市民の生活の足として寄与しているかを評価
	バスの運行に対する満足度の評価	バス路線の運行サービスの満足度	運行サービスが市民ニーズと合っているかを評価
	周知・認知状況の評価	バスに関する市民の認知度	バスの利用促進活動が市民に行き渡っているかを評価

評価の視点	個々の路線単位の評価		
評価項目	路線の利用者数に関する評価	運行効率に関する評価	
評価指標（案）	バスを必要とする路線沿線の人口に対するバス利用率	路線別の収支率・路線別利用者１人当たりの負担額	
活用の目的	・バス利用意向がある沿線住民の人口に応じた利用がなされているかを評価します。 ・路線沿線の人口規模を考慮するために、沿線住民のバス利用率を評価指標とし、路線の利用状況に合った運行サービスの改善の方向性を検討します。 バス勢圏：バス停から半径 300～500m バス路線沿線の人口は、バス勢圏内の人口を計算して設定します。	・利用実態に見合った効率的な運行がなされているかを評価します。 ・収支率は、各路線の運行計画策定時に設定した目標を基準として評価し、路線の収支状況にあった運行サービスの改善の方向性を検討します。 路線別収支率(運行計画策定時)	
	使用するデータ	公共交通に関するアンケート・利用実績	公共交通に関するアンケート・バス利用者アンケート・運行実績
	【参 考】 アンケート調査結果等から見える傾向	・バスを必要とするニーズは地区によって異なっていますので、路線ごとの沿線ニーズを把握の上で、利用者数の妥当性を検証する必要があると考えられます。 利用者数（人／月平均：H30） 平成30年度の月平均利用者数(運行実績) 中学校区ごとのバスの必要性の構成(公共交通に関するアンケート)	・豊川市コミュニティバスの維持に対する税負担の市民意識は、現状並みの税負担とする意見が多くなっています。 ・現在の収支率や利用者１人あたりの負担額は路線により差異がみられ、市の財政状況も踏まえると、効率的に維持することが必要と考えられます。 路線維持のための行政負担(バス利用者アンケート) 路線維持のための行政負担(公共交通に関するアンケート) 路線別収支率(平成30年度) 路線別利用者１人あたり利用者数(平成30年度)

(2) 評価指標(案)と活用の目的(2/3)

評価の視点	路線ネットワーク全体の評価		
評価項目	路線体系の評価		乗継に関する評価
評価指標(案)	主な移動方向に対する路線網	移動方向の区間単位での1日・1便平均の利用者数	現在の交通結節点での乗継利用者数・乗継待ち時間
活用の目的	・市民の移動ニーズと路線体系が合っているかを評価します。合っていない場合は、路線の新設、支線の接続、経由地変更などの方向性を検討します。	・利用実態に対して、運行本数や運行系統が合っているかを評価します。 ・路線の利用特性を考慮して、運行本数や運行系統の見直しの方向性を検討します。	・交通結節点において、移動ニーズに合った乗継利便性が確保されているかを評価します。 ・移動ニーズの多い方向に着眼して乗継利便性を把握して、改善の方向性を検討します。
使用するデータ	公共交通に関するアンケート・バス利用者アンケート	OD調査・運行実績	バス利用者アンケート・運行実績
【参考】 アンケート調査結果等から 見える傾向	・バスを必要だと考えている人が、市内で行きたいと考えている施設は、現在のバス路線で既にカバーされているものの、バス未利用理由を見ると「行きたいところへ行けない」が目立っていることから、移動ニーズと路線体系を確認し、バスネットワークを見直すことが必要と考えられます。 バスで行きたい市内の上位10の施設(公共交通に関するアンケート) バスを必要と思う市民がバスを使わない(不便)の理由の構成(公共交通に関するアンケート)	・1つの路線の中でも区間によって移動量が異なる実態もあるため、移動量に応じた運行サービスを提供することが必要と考えられます。	・豊川市コミュニティバスでは、交通結節点での乗継利用を想定していますが、乗継利用の実態は1割となっています。 ・乗継に関する利用者満足度も低い状況にあるので、乗継利便性の向上を図る必要があると考えられます。 豊川市コミュニティバスの乗継利用の割合(バス利用者アンケート) 豊川市コミュニティバスの利用者満足度(バス利用者アンケート)

(3) 評価指標(案)と活用の目的(3/3)

評価の視点	市民・地域・利用者視点の評価																																																																																																																																																																																																																																	
評価項目	地域への効果に関する評価	バスの運行に関する満足度の評価	周知・認知状況の評価																																																																																																																																																																																																																															
評価指標（案）	沿線住民の外出機会の変化	バス路線の運行サービスの満足度	バスに関する市民の認知度																																																																																																																																																																																																																															
活用の目的	・市民の生活の足として寄与しているかを評価します。 ・地区ごとの状況も考慮して、改善の方向性を検討します。 中学校区単位の外出機会の評価(イメージ) <table><tr><th>No</th><th>中学校区</th><th>外出機会が増えた割合(%)</th></tr><tr><td>1</td><td>東部中</td><td>0</td></tr><tr><td>2</td><td>金屋中</td><td>0</td></tr><tr><td>3</td><td>中部中</td><td>0</td></tr><tr><td>4</td><td>西部中</td><td>5</td></tr><tr><td>⋮</td><td>⋮</td><td>⋮</td></tr><tr><td>10</td><td>小坂井中</td><td>0</td></tr><tr><td colspan="2">市全体</td><td>6</td></tr></table>	No	中学校区	外出機会が増えた割合(%)	1	東部中	0	2	金屋中	0	3	中部中	0	4	西部中	5	⋮	⋮	⋮	10	小坂井中	0	市全体		6	・運行サービスが市民ニーズと合っているかを評価します。 ・地区ごとの満足度を考慮して、運行サービスの改善の方向性を検討します。 中学校区単位の利便性の評価(イメージ) <table><tr><th>No</th><th>中学校区</th><th>利便性が良くなった割合(%)</th></tr><tr><td>1</td><td>東部中</td><td>7</td></tr><tr><td>2</td><td>金屋中</td><td>8</td></tr><tr><td>3</td><td>中部中</td><td>0</td></tr><tr><td>4</td><td>西部中</td><td>5</td></tr><tr><td>⋮</td><td>⋮</td><td>⋮</td></tr><tr><td>10</td><td>小坂井中</td><td>0</td></tr><tr><td colspan="2">市全体</td><td>13</td></tr></table>	No	中学校区	利便性が良くなった割合(%)	1	東部中	7	2	金屋中	8	3	中部中	0	4	西部中	5	⋮	⋮	⋮	10	小坂井中	0	市全体		13	・バスの利用促進活動が市民に行き渡っているかを評価します。 ・地区ごとの認知度を考慮して、改善の方向性を検討します。 中学校区単位の認知度の評価(イメージ) <table><tr><th>No</th><th>中学校区</th><th>バスの運行を知っている割合(%)</th></tr><tr><td>1</td><td>東部中</td><td>55</td></tr><tr><td>2</td><td>金屋中</td><td>72</td></tr><tr><td>3</td><td>中部中</td><td>62</td></tr><tr><td>4</td><td>西部中</td><td>58</td></tr><tr><td>⋮</td><td>⋮</td><td>⋮</td></tr><tr><td>10</td><td>小坂井中</td><td>60</td></tr><tr><td colspan="2">市全体</td><td>62</td></tr></table>	No	中学校区	バスの運行を知っている割合(%)	1	東部中	55	2	金屋中	72	3	中部中	62	4	西部中	58	⋮	⋮	⋮	10	小坂井中	60	市全体		62																																																																																																																																																							
	No	中学校区	外出機会が増えた割合(%)																																																																																																																																																																																																																															
	1	東部中	0																																																																																																																																																																																																																															
	2	金屋中	0																																																																																																																																																																																																																															
3	中部中	0																																																																																																																																																																																																																																
4	西部中	5																																																																																																																																																																																																																																
⋮	⋮	⋮																																																																																																																																																																																																																																
10	小坂井中	0																																																																																																																																																																																																																																
市全体		6																																																																																																																																																																																																																																
No	中学校区	利便性が良くなった割合(%)																																																																																																																																																																																																																																
1	東部中	7																																																																																																																																																																																																																																
2	金屋中	8																																																																																																																																																																																																																																
3	中部中	0																																																																																																																																																																																																																																
4	西部中	5																																																																																																																																																																																																																																
⋮	⋮	⋮																																																																																																																																																																																																																																
10	小坂井中	0																																																																																																																																																																																																																																
市全体		13																																																																																																																																																																																																																																
No	中学校区	バスの運行を知っている割合(%)																																																																																																																																																																																																																																
1	東部中	55																																																																																																																																																																																																																																
2	金屋中	72																																																																																																																																																																																																																																
3	中部中	62																																																																																																																																																																																																																																
4	西部中	58																																																																																																																																																																																																																																
⋮	⋮	⋮																																																																																																																																																																																																																																
10	小坂井中	60																																																																																																																																																																																																																																
市全体		62																																																																																																																																																																																																																																
使用するデータ	公共交通に関するアンケート・バス利用者アンケート	公共交通に関するアンケート・バス利用者アンケート	公共交通に関するアンケート																																																																																																																																																																																																																															
【参考】 アンケート調査結果等から 見える傾向	・バス利用者全体では、利便性は「便利になった」が多く、外出回数やバス利用回数は「増えた」傾向にありますが、地区によって外出機会の変化は異なりますので、地区への効果を高める改善の方向性を整理する必要があると考えられます。 <table><tr><th>利用状況</th><th>便利になった</th><th>不便になった</th><th>変わらない</th></tr><tr><td>コミバス利用者(N=107)</td><td>27%</td><td>21%</td><td>51%</td></tr><tr><td>豊鉄バス利用者(N=45)</td><td>40%</td><td>7%</td><td>53%</td></tr></table> <table><tr><th>利用状況</th><th>増えた</th><th>変わらない</th><th>減った</th><th>分からない</th></tr><tr><td>以前行っていた所への外出回数</td><td>18%</td><td>62%</td><td>8%</td><td>12%</td></tr><tr><td>バスを利用する回数</td><td>33%</td><td>54%</td><td>5%</td><td>8%</td></tr></table> 外出機会の変化(バス利用者アンケート) <table><tr><th>中学校区</th><th>増えた</th><th>減った</th><th>あまり変わらない</th></tr><tr><td>1. 東部中(N=12)</td><td>0</td><td>0</td><td>100</td></tr><tr><td>2. 代田中(N=6)</td><td>0</td><td>0</td><td>100</td></tr><tr><td>3. 南部中(N=15)</td><td>0</td><td>0</td><td>100</td></tr><tr><td>4. 金屋中(N=19)</td><td>5</td><td>15</td><td>80</td></tr><tr><td>5. 中部中(N=18)</td><td>5</td><td>10</td><td>85</td></tr><tr><td>6. 西部中(N=3)</td><td>0</td><td>0</td><td>100</td></tr><tr><td>7. 音羽中(N=25)</td><td>10</td><td>15</td><td>75</td></tr><tr><td>8. 一宮中(N=11)</td><td>20</td><td>20</td><td>60</td></tr><tr><td>9. 御津中(N=3)</td><td>0</td><td>0</td><td>100</td></tr><tr><td>10. 小坂井中(N=1)</td><td>0</td><td>0</td><td>100</td></tr><tr><td>全体(N=115)</td><td>10</td><td>15</td><td>75</td></tr></table> 中学校区ごとの外出機会の変化(公共交通に関するアンケート)	利用状況	便利になった	不便になった	変わらない	コミバス利用者(N=107)	27%	21%	51%	豊鉄バス利用者(N=45)	40%	7%	53%	利用状況	増えた	変わらない	減った	分からない	以前行っていた所への外出回数	18%	62%	8%	12%	バスを利用する回数	33%	54%	5%	8%	中学校区	増えた	減った	あまり変わらない	1. 東部中(N=12)	0	0	100	2. 代田中(N=6)	0	0	100	3. 南部中(N=15)	0	0	100	4. 金屋中(N=19)	5	15	80	5. 中部中(N=18)	5	10	85	6. 西部中(N=3)	0	0	100	7. 音羽中(N=25)	10	15	75	8. 一宮中(N=11)	20	20	60	9. 御津中(N=3)	0	0	100	10. 小坂井中(N=1)	0	0	100	全体(N=115)	10	15	75	・地区によってバスのサービス水準（運行本数や運行時間帯など）が異なり、利便性の変化に対する意識も異なりますので、地区の満足度を高める改善の方向性を整理する必要があると考えられます。 <table><tr><th>中学校区</th><th>とても便利になった</th><th>少し便利になった</th><th>変わらない</th><th>少し不便になった</th><th>とても不便になった</th><th>分からない</th></tr><tr><td>1. 東部中(N=15)</td><td>0</td><td>10</td><td>50</td><td>30</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>2. 代田中(N=12)</td><td>0</td><td>10</td><td>50</td><td>30</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>3. 南部中(N=22)</td><td>0</td><td>10</td><td>50</td><td>30</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>4. 金屋中(N=21)</td><td>0</td><td>10</td><td>50</td><td>30</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>5. 中部中(N=20)</td><td>0</td><td>10</td><td>50</td><td>30</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>6. 西部中(N=10)</td><td>0</td><td>10</td><td>50</td><td>30</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>7. 音羽中(N=27)</td><td>0</td><td>10</td><td>50</td><td>30</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>8. 一宮中(N=11)</td><td>0</td><td>10</td><td>50</td><td>30</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>9. 御津中(N=3)</td><td>0</td><td>10</td><td>50</td><td>30</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>10. 小坂井中(N=1)</td><td>0</td><td>10</td><td>50</td><td>30</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>全体(N=145)</td><td>0</td><td>10</td><td>50</td><td>30</td><td>0</td><td>10</td></tr></table> 中学校区ごとのバスの利便性の変化(公共交通に関するアンケート) <table><tr><th>理由</th><th>割合(%)</th></tr><tr><td>出発地や目的地がバス停に近いから</td><td>44</td></tr><tr><td>他に交通手段がないから</td><td>43</td></tr><tr><td>便利だから</td><td>36</td></tr><tr><td>交通費が安いから</td><td>31</td></tr><tr><td>時間通りに行けるから</td><td>22</td></tr><tr><td>安全だから</td><td>19</td></tr><tr><td>早く行けるから</td><td>15</td></tr><tr><td>他の交通手段との乗換えが便利だから</td><td>14</td></tr><tr><td>健康に良いから</td><td>4</td></tr><tr><td>環境に良いから</td><td>2</td></tr><tr><td>駐車場がないから</td><td>0</td></tr><tr><td>その他</td><td>7</td></tr></table> バス利用者がバスを使った理由の構成(バス利用者アンケート)	中学校区	とても便利になった	少し便利になった	変わらない	少し不便になった	とても不便になった	分からない	1. 東部中(N=15)	0	10	50	30	0	10	2. 代田中(N=12)	0	10	50	30	0	10	3. 南部中(N=22)	0	10	50	30	0	10	4. 金屋中(N=21)	0	10	50	30	0	10	5. 中部中(N=20)	0	10	50	30	0	10	6. 西部中(N=10)	0	10	50	30	0	10	7. 音羽中(N=27)	0	10	50	30	0	10	8. 一宮中(N=11)	0	10	50	30	0	10	9. 御津中(N=3)	0	10	50	30	0	10	10. 小坂井中(N=1)	0	10	50	30	0	10	全体(N=145)	0	10	50	30	0	10	理由	割合(%)	出発地や目的地がバス停に近いから	44	他に交通手段がないから	43	便利だから	36	交通費が安いから	31	時間通りに行けるから	22	安全だから	19	早く行けるから	15	他の交通手段との乗換えが便利だから	14	健康に良いから	4	環境に良いから	2	駐車場がないから	0	その他	7	・豊川市コミュニティバスの認知度は6〜7割となっていますが、「バスの経路を知らない」の割合が上位に位置していますので、地区の認知度を高める改善の方向性を整理する必要があると考えられます。 <table><tr><th>中学校区</th><th>知っていた</th><th>聞いたことはある。詳しく知らない</th><th>全く知らない</th></tr><tr><td>市全体(N=1462)</td><td>65</td><td>25</td><td>10</td></tr><tr><td>バスを必要とする市民(N=548)</td><td>75</td><td>15</td><td>10</td></tr></table> 豊川市コミュニティバスの認知度(公共交通に関するアンケート) <table><tr><th>理由</th><th>割合(%)</th></tr><tr><td>行きたいところへ行けない</td><td>21</td></tr><tr><td>バスの走行経路を知らない</td><td>19</td></tr><tr><td>運行本数が少ない</td><td>13</td></tr><tr><td>バス停が遠い</td><td>12</td></tr><tr><td>目的地まで時間がかかる</td><td>8</td></tr><tr><td>時刻表がわからない</td><td>7</td></tr><tr><td>乗継ぎが不便</td><td>7</td></tr><tr><td>運賃が高い</td><td>2</td></tr><tr><td>最終の時間が早い</td><td>2</td></tr><tr><td>始発の時間が遅い</td><td>2</td></tr><tr><td>時刻表通りに来ない</td><td>2</td></tr><tr><td>その他</td><td>4</td></tr></table> 今のところ、バスの利用予定がない市民の未利用理由の構成 (公共交通に関するアンケート)	中学校区	知っていた	聞いたことはある。詳しく知らない	全く知らない	市全体(N=1462)	65	25	10	バスを必要とする市民(N=548)	75	15	10	理由	割合(%)	行きたいところへ行けない	21	バスの走行経路を知らない	19	運行本数が少ない	13	バス停が遠い	12	目的地まで時間がかかる	8	時刻表がわからない	7	乗継ぎが不便	7	運賃が高い	2	最終の時間が早い	2	始発の時間が遅い	2	時刻表通りに来ない	2	その他	4
	利用状況	便利になった	不便になった	変わらない																																																																																																																																																																																																																														
	コミバス利用者(N=107)	27%	21%	51%																																																																																																																																																																																																																														
	豊鉄バス利用者(N=45)	40%	7%	53%																																																																																																																																																																																																																														
利用状況	増えた	変わらない	減った	分からない																																																																																																																																																																																																																														
以前行っていた所への外出回数	18%	62%	8%	12%																																																																																																																																																																																																																														
バスを利用する回数	33%	54%	5%	8%																																																																																																																																																																																																																														
中学校区	増えた	減った	あまり変わらない																																																																																																																																																																																																																															
1. 東部中(N=12)	0	0	100																																																																																																																																																																																																																															
2. 代田中(N=6)	0	0	100																																																																																																																																																																																																																															
3. 南部中(N=15)	0	0	100																																																																																																																																																																																																																															
4. 金屋中(N=19)	5	15	80																																																																																																																																																																																																																															
5. 中部中(N=18)	5	10	85																																																																																																																																																																																																																															
6. 西部中(N=3)	0	0	100																																																																																																																																																																																																																															
7. 音羽中(N=25)	10	15	75																																																																																																																																																																																																																															
8. 一宮中(N=11)	20	20	60																																																																																																																																																																																																																															
9. 御津中(N=3)	0	0	100																																																																																																																																																																																																																															
10. 小坂井中(N=1)	0	0	100																																																																																																																																																																																																																															
全体(N=115)	10	15	75																																																																																																																																																																																																																															
中学校区	とても便利になった	少し便利になった	変わらない	少し不便になった	とても不便になった	分からない																																																																																																																																																																																																																												
1. 東部中(N=15)	0	10	50	30	0	10																																																																																																																																																																																																																												
2. 代田中(N=12)	0	10	50	30	0	10																																																																																																																																																																																																																												
3. 南部中(N=22)	0	10	50	30	0	10																																																																																																																																																																																																																												
4. 金屋中(N=21)	0	10	50	30	0	10																																																																																																																																																																																																																												
5. 中部中(N=20)	0	10	50	30	0	10																																																																																																																																																																																																																												
6. 西部中(N=10)	0	10	50	30	0	10																																																																																																																																																																																																																												
7. 音羽中(N=27)	0	10	50	30	0	10																																																																																																																																																																																																																												
8. 一宮中(N=11)	0	10	50	30	0	10																																																																																																																																																																																																																												
9. 御津中(N=3)	0	10	50	30	0	10																																																																																																																																																																																																																												
10. 小坂井中(N=1)	0	10	50	30	0	10																																																																																																																																																																																																																												
全体(N=145)	0	10	50	30	0	10																																																																																																																																																																																																																												
理由	割合(%)																																																																																																																																																																																																																																	
出発地や目的地がバス停に近いから	44																																																																																																																																																																																																																																	
他に交通手段がないから	43																																																																																																																																																																																																																																	
便利だから	36																																																																																																																																																																																																																																	
交通費が安いから	31																																																																																																																																																																																																																																	
時間通りに行けるから	22																																																																																																																																																																																																																																	
安全だから	19																																																																																																																																																																																																																																	
早く行けるから	15																																																																																																																																																																																																																																	
他の交通手段との乗換えが便利だから	14																																																																																																																																																																																																																																	
健康に良いから	4																																																																																																																																																																																																																																	
環境に良いから	2																																																																																																																																																																																																																																	
駐車場がないから	0																																																																																																																																																																																																																																	
その他	7																																																																																																																																																																																																																																	
中学校区	知っていた	聞いたことはある。詳しく知らない	全く知らない																																																																																																																																																																																																																															
市全体(N=1462)	65	25	10																																																																																																																																																																																																																															
バスを必要とする市民(N=548)	75	15	10																																																																																																																																																																																																																															
理由	割合(%)																																																																																																																																																																																																																																	
行きたいところへ行けない	21																																																																																																																																																																																																																																	
バスの走行経路を知らない	19																																																																																																																																																																																																																																	
運行本数が少ない	13																																																																																																																																																																																																																																	
バス停が遠い	12																																																																																																																																																																																																																																	
目的地まで時間がかかる	8																																																																																																																																																																																																																																	
時刻表がわからない	7																																																																																																																																																																																																																																	
乗継ぎが不便	7																																																																																																																																																																																																																																	
運賃が高い	2																																																																																																																																																																																																																																	
最終の時間が早い	2																																																																																																																																																																																																																																	
始発の時間が遅い	2																																																																																																																																																																																																																																	
時刻表通りに来ない	2																																																																																																																																																																																																																																	
その他	4																																																																																																																																																																																																																																	

4-5. 評価のまとめと改善の方向性の決定手順

- ・ 3つの評価（路線単位、地域ごと、ネットワーク）に基づいて、市域の中での課題、問題箇所を確認します。
- ・ その課題、問題点に対し、評価指標の値に応じて改善の方向性や優先順位などを整理します。
- ・ 改善の方向性や優先順位は、地域ごと（学校区単位を目安）で整理します。

評価のまとめと改善の方向性の決定手順（イメージ）

STEP 1：路線単位での改善の方向性整理

評価の視点	評価項目	個々の路線単位の評価
個々の路線単位の評価	路線の利用者数に関する評価	・ 始めに路線の評価指標の大小を参考に改善度合いを分類します。（一部見直し、大幅な見直しなど） ・ 個々の路線ごとに、改善度合いに応じた改善の方向性を整理していきます。
	運行効率に関する評価	

指標の大小で改善度合いを分類し、それぞれの改善の方向性を整理

一部見直し

大幅な見直し

STEP 2：中学校区単位の評価による補正

評価の視点	評価項目	中学校区単位での評価
路線ネットワーク全体の評価	路線体系の評価	ネットワーク全体の評価
	乗継に関する評価	
市民・地域・利用者視点の評価	地域への効果に関する評価	市民・地域・利用者視点の評価
	バスの運行に対する満足度の評価	
	周知・認知状況の評価	

・ 各校区の指標を整理し、上記で整理した路線ごとの改善の方向性に対し、地区の指標を見ながら改善の方向性を補正します。

改善の方向性を補正

ネットワーク全体の評価

市民・地域・利用者視点の評価

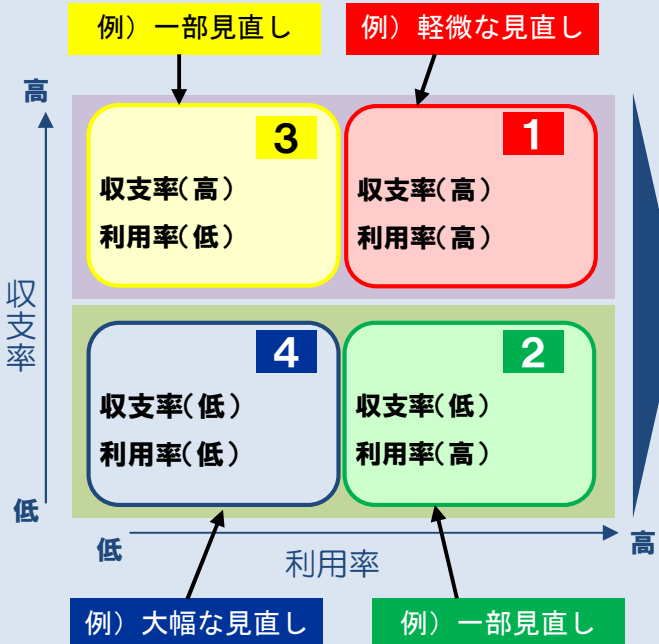
STEP 3：改善の方向性の決定

路線・校区ごとに改善の方向性を決定

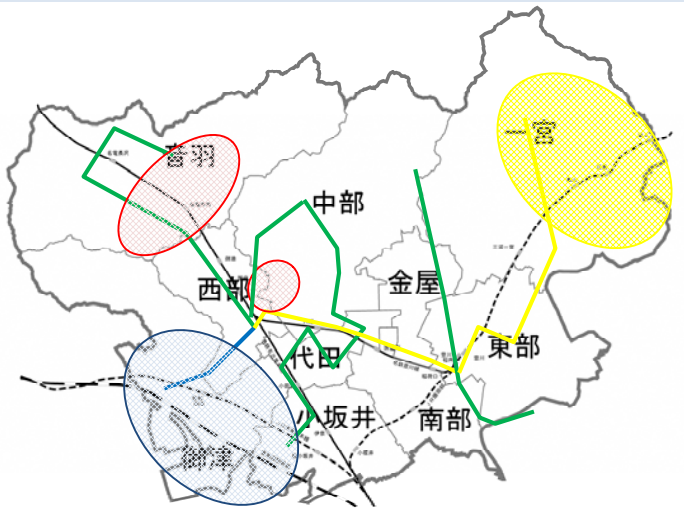
STEP 1：路線単位での改善の方向性整理

個々の路線単位の評価（イメージ）

客観的な評価のために、利用率や収支率の2つの指標から、既存のコミュニティバスの改善度合いを4つに分類して、個々の改善の方向性を整理



図上に改善ポイントを明示して図化



個々の路線単位の評価

改善度合いの例		改善の方向性の例
1	軽微な見直し	ダイヤの調整
		バス停位置の変更
		
2	一部見直し (経費抑制)	効率的な運行系統の設定
		運行経路の見直し
		
3	一部見直し (サービス向上)	バス停の新設
		運行経路の見直し
		
4	大幅な見直し	ルートの見直し
		サービス水準変更
		

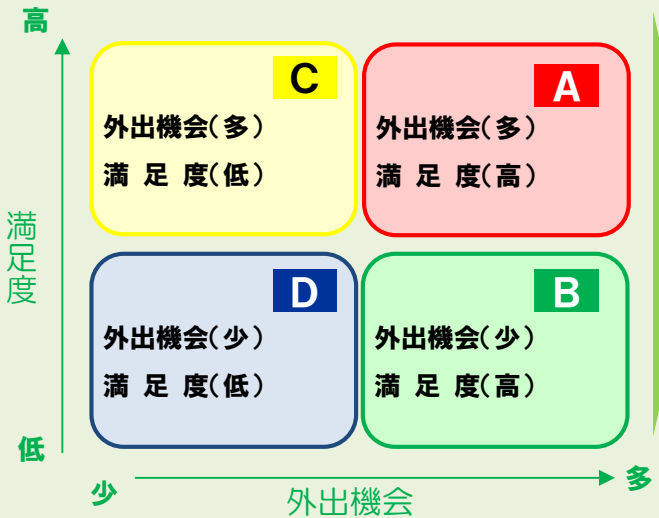
路線の評価を
補正

STEP 2：中学校区単位の評価による補正

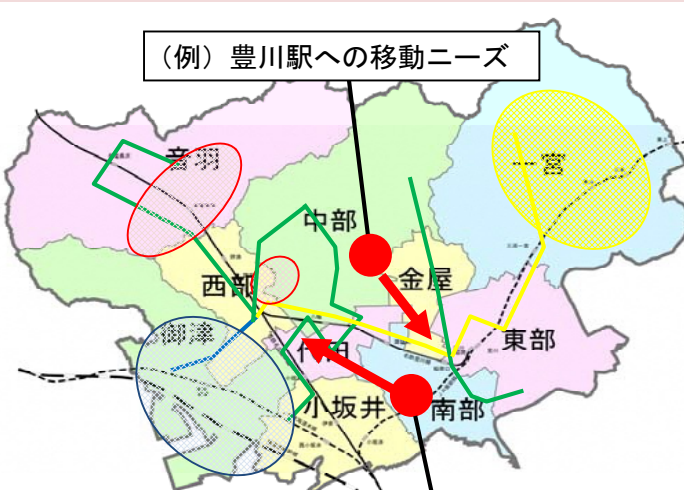
市民・地域・利用者視点の評価
（イメージ）

ネットワーク全体の評価
（イメージ）

客観的な評価のために、外出機会や満足度の2つの指標を点数化して、指標の大きさによって4つに分類し、地域としての改善の方向性を整理



図上に評価指標を視覚的に明示して図化



中学校区単位での評価

地域の評価	ネットワーク評価
利用者・地域・市民の 視点の評価指標を 校区ごとに整理	主な移動ニーズを 校区ごとに整理

STEP 3：改善の方向性の決定

【改善の方向性】

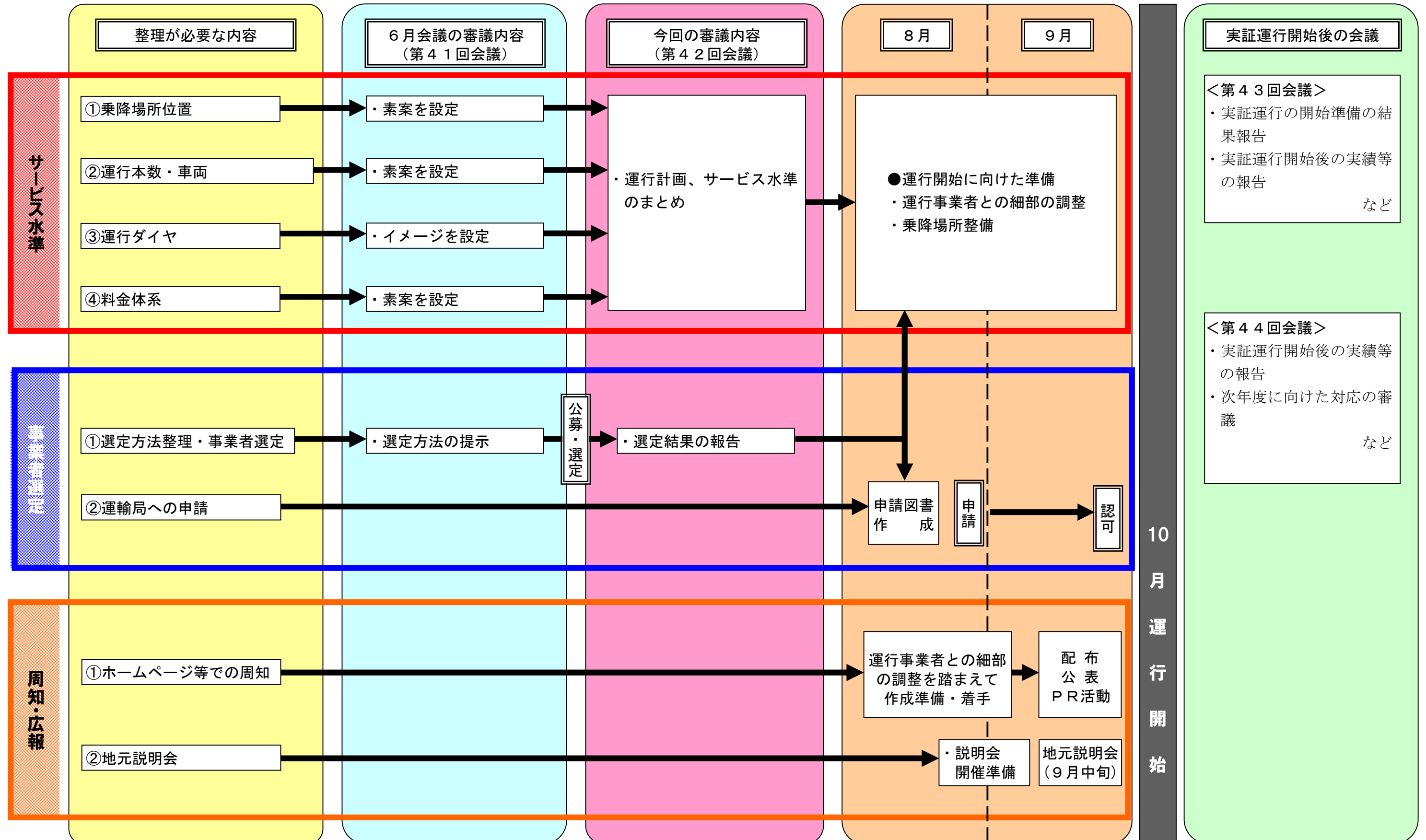
- ・ 路線の再検討
- ・ 運行ダイヤの調整
- ・ バス停の位置変更
- ・ ルートの見直し
- ・ 利用促進活動の強化
など

5. 【協議事項（４）】デマンド型交通の実証実験（案）

5-1. 実証運行開始までのスケジュールと今回の審議項目

睦美・三上デマンドタクシーの実証運行は、10月の運行開始を予定しています。

今回は、実証運行に向けた最終審議を行い、8～9月は実証運行のための準備を実施して運行開始に備えます。



5－2．運行事業者の選定結果

（１）選定方法

- ・指名型の総合評価落札方式
（価格要素と非価格要素により総合的に評価して選定）

（２）選定者

- ・運行事業者選定委員会を設置し、選定委員が評価して選定
- ・選定委員は、豊川市及び地域公共交通会議から６名を選出
（市職員５名、学識経験者１名）

（３）指名方法

- ・睦美・三上デマンドタクシー実証実験運行業務に係るプロポーザル実施要領を作成し、指名

（４）業務内容

- ・睦美・三上デマンドタクシー実証実験業務仕様書及び運行事業者からの提案事項に基づいて運行
（主な業務：運行開始のための準備、運行の実施、運行実績の報告など）

（５）スケジュール

- | | |
|--------------|--------------|
| ①指名通知 | 令和元年６月２５日（火） |
| ②参加意思表示書提出期限 | 令和元年７月　１日（月） |
| ③質問期限 | 令和元年７月１０日（水） |
| ④提案書提出期限 | 令和元年７月１２日（金） |
| ⑤運行事業者ヒアリング | 令和元年７月２６日（金） |
| ⑥運行事業者選定 | 令和元年７月３０日（火） |

（６）参加表明事業者

	参加を表明した事業者数
睦美・三上デマンドタクシー	２社

（７）審査項目

- ・価格要素７０点、非価格要素３０点とし、下記の項目で審査して採点し、評価を行いました。

要素	審査項目
価格要素	運行経費見積額
非価格要素	運行管理体制
	乗務員に対する安全教育等研修体制
	苦情処理体制
	災害時及び事故時の対応体制
	損害賠償能力
	その他仕様に対する上乗せ提案項目

（８）選定事業者

- ・審査項目に基づいて総合的に評価を行った結果、下記の事業者を選定しました。

豊鉄タクシー株式会社

睦美・三上デマンドタクシー運行事業者選定評価結果

	豊鉄タクシー(株)	B社
A 委員	91	88
B 委員	95	93
C 委員	94	90
D 委員	98	93
E 委員	99	91
F 委員	98	95
合計点	575	550

5－3．睦美・三上デマンドタクシー実証実験概要

豊川市では、平成２３年１１月にコミュニティバスの運行を開始し、市内のバス勢圏を拡大しましたが、バスによる公共交通空白地が残っていることが課題となっています。

しかし、財源の制約、既存のコミュニティバスの収支目標が未達であることや、燃料費や人件費の上昇に伴う運行経費の上昇などから、バス路線の新設が困難となっており、新たな移動手段として、予約があったときのみ運行するデマンド型交通の導入可否を調査することを目的として、睦美・三上地区において、デマンドタクシー実証実験を実施します。

期間は令和元年１０月１日（火）から令和２年３月３１日（火）までの予定です。

なお、睦美・三上デマンドタクシーは、千両三上線を利用することができない地区を主に運行するため、実証実験期間中も千両三上線の運行を継続します。

区域運行の導入案
（営業区域）豊川地区、馬場地区、三谷原地区、村前住宅地区、牧野地区、土筒地区、院之子地区、当古地区、住吉地区、三上地区
（乗降場所）１５～１８ページのとおり
（運賃）１乗車５００円（２歳以下は無料）

（１）サービス水準の設定（案）

	各地区共通
運行日	月曜～金曜運行（１／１～１／３は運休）
運行時間帯	８時台～１６時台
ダイヤ	各乗降場所の詳細なダイヤはページ右側を参照

（２）運行形態・運行方式の設定（案）

	(A)豊川駅エリア	(B)睦美・土筒エリア	(C)牧野・三上エリア	(D)三上七区エリア
運行方向	(偶数便) (A) → (B) → (C) → (D)			
	(奇数便) (D) → (C) → (B) → (A)			
乗降場所数	２箇所	５箇所	６箇所	１箇所
乗降場所	①豊川駅東口 ②グリーンセンター 豊川	①住吉公園 ②ささき整形外科クリニック ③土筒町地区集会所 ④睦美地区市民館 ⑤当古町公会堂	①牧野西公園 ②牧野公会堂 ③石原集会所 ④共立萩野病院 ⑤本郷集会所 ⑥三上地区市民館	①三上七区集会所
	各地区共通			
運行事業者	豊鉄タクシー株式会社			
運行形態	● 乗降予約のある乗降場所間のみを最短距離で運行する「区域運行方式」とする。			
車両	● 実験で使用する車両は、タクシー事業者の事業用乗用自動車と併用。 ● １便１台で運行。 ● 一般のタクシーと区別するため、デマンドタクシーには専用のマグネットシートを貼付。 ● 予約人数が乗車定員を上回った場合の増便対応はなし。			

（２）運行形態・運行方式の設定（案） ※左下表からの続き

	各地区共通
運賃	● １乗車５００円（２歳以下は無料）
予約受付	● 予約は利用者から電話で受付を行う。 ● 予約受付時間は、利用希望日１週間前から利用２時間前までの、８時から２０時までの時間内とする。ただし、第１便・第２便の予約は前日２０時までとする。
周知方法	● 実証実験の内容について、対象エリアの方に認知、利用してもらうために、「地元説明会及び利用者登録会」、ホームページ、地元回覧等で周知を行う。

（３）運行ダイヤ
【奇数便】 三上 ⇒ 豊川駅東口 方面

	第１便	第３便	第５便	第７便	第９便
予約	前日 ２０：００ まで	利用時間の２時間前まで			

エリア名	第１便	第３便	第５便	第７便	第９便
三上七区	８：３０	１０：３０	１３：３０	１４：３０	１５：３０
牧野・三上	８：４０	１０：４０	１３：４０	１４：４０	１５：４０
睦美・土筒	８：５０	１０：５０	１３：５０	１４：５０	１５：５０
豊川駅	９：００	１１：００	１４：００	１５：００	１６：００

【偶数便】 豊川駅東口 ⇒ 三上 方面

	第２便	第４便	第６便	第８便	第１０便
予約	前日 ２０：００ まで	利用時間の２時間前まで			

エリア名	第２便	第４便	第６便	第８便	第１０便
豊川駅	１０：００	１３：００	１４：００	１５：００	１６：００
睦美・土筒	１０：１０	１３：１０	１４：１０	１５：１０	１６：１０
牧野・三上	１０：２０	１３：２０	１４：２０	１５：２０	１６：２０
三上七区	１０：３０	１３：３０	１４：３０	１５：３０	１６：３０

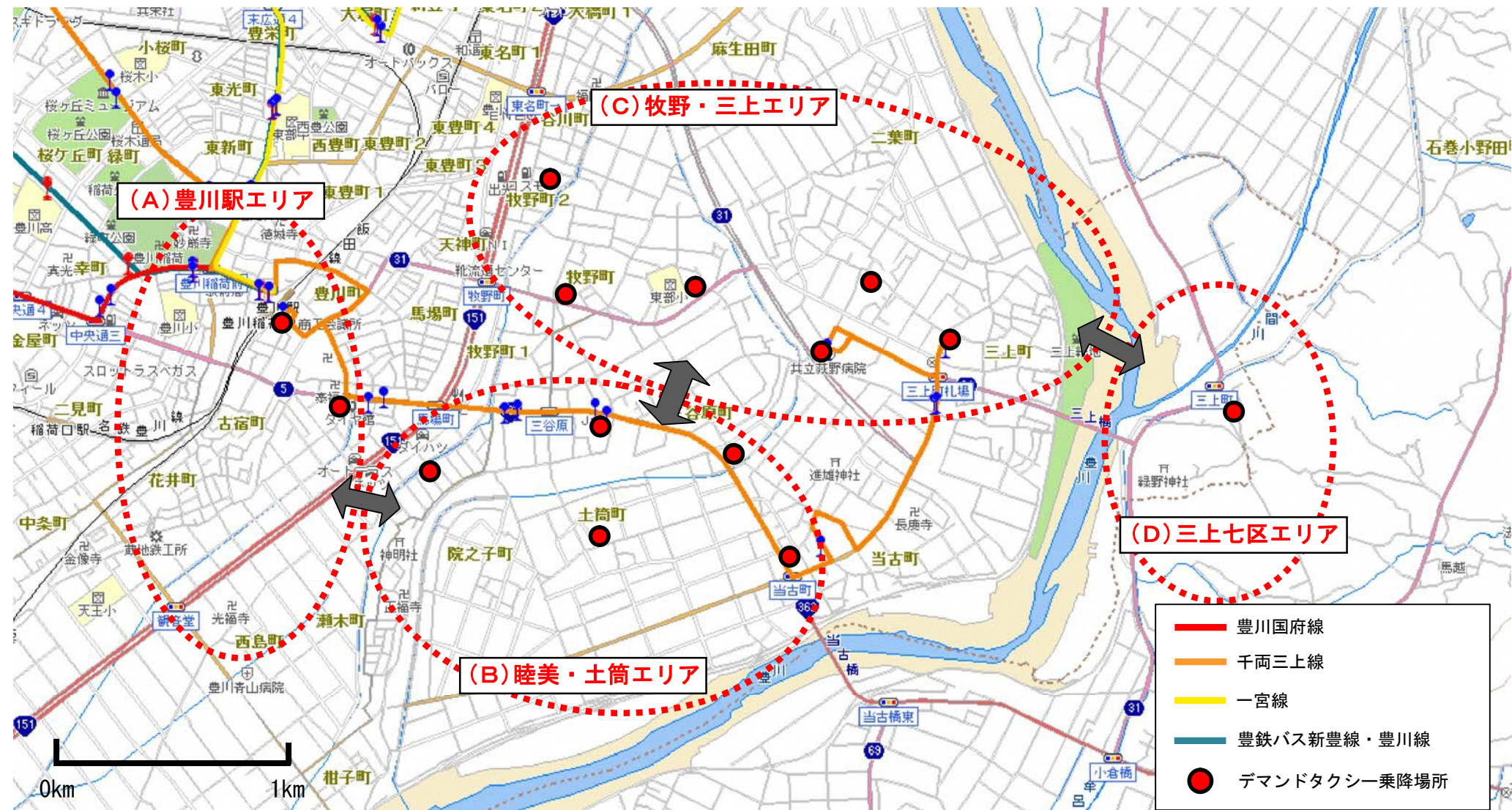
（４）事前確認事項

乗降場所設置については、公安委員会、運行事業者、地権者等との協議を終え、合意を得ています。

（５）地元説明会及び利用者登録会のスケジュール

９月１１日（水）	三上地区市民館
９月１２日（木）	勝山公会堂
９月１８日（水）	三上地区市民館
９月２２日（日）	睦美地区市民館・当古町公会堂

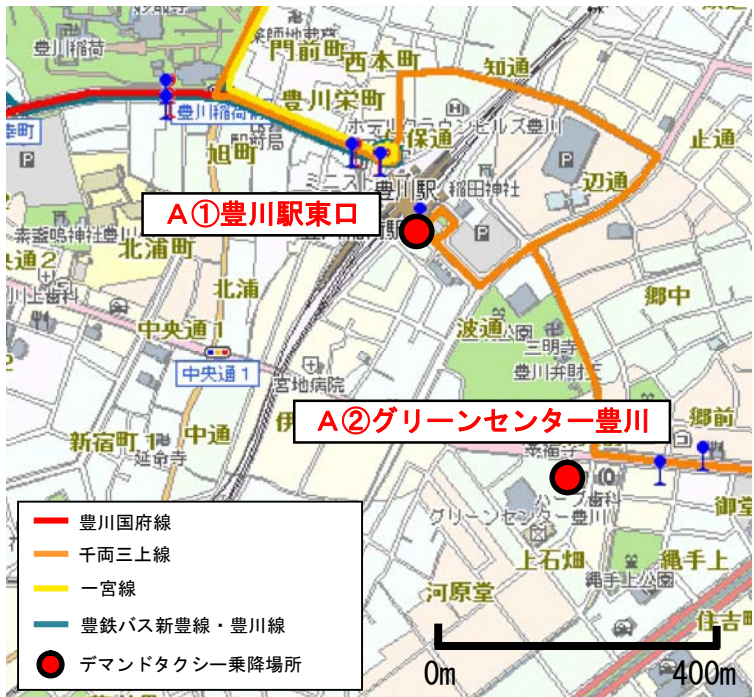
(6) 運行区域及び乗降場所



(A) 豊川駅エリア



A① 豊川駅東口



A② グリーンセンター豊川

(B) 睦美・土筒エリア



B①住吉公園



B②ささき整形外科クリニック



B④睦美地区市民館



B③土筒町地区集会所



B⑤当古町公会堂

(C) 牧野・三上エリア



C①牧野西公園



C②牧野公会堂



C③石原集会所



C④共立萩野病院



C⑤本郷集会所



C⑥三上地区市民館

(D) 三上七区エリア



D①三上七区集会所

6. 【協議事項（５）】車両更新に伴うコミュニティバス車両の移動円滑化基準適用除外

豊川市コミュニティバス下記路線で使用する車両について、車両更新に伴い、移動等円滑化基準第４３条の規定に基づき適用除外認定を受けるため、国土交通省中部運輸局へ申請を行います。

（１）適用除外認定を受ける路線の車両

- ・千両三上線
- ・ゆうあいの里小坂井線
- ・御津線

計３台

（２）移動等円滑化基準の適用除外について

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法、平成１８年法律第９１号）では、車両の新規導入の際には低床や車いすを利用した乗車ができることなどの移動等円滑化基準（以下「バリアフリー基準」といいます。）の適合が義務付けられています。

しかし、道路や地形上の問題等によりバリアフリー基準を満たすことが困難である場合、乗車定員が２３人以下であって車両総重量５トン以下の自動車について、地方運輸局に申請し認定を受けることで、バリアフリー基準の一部が適用除外となります。

（３）新規車両の導入について

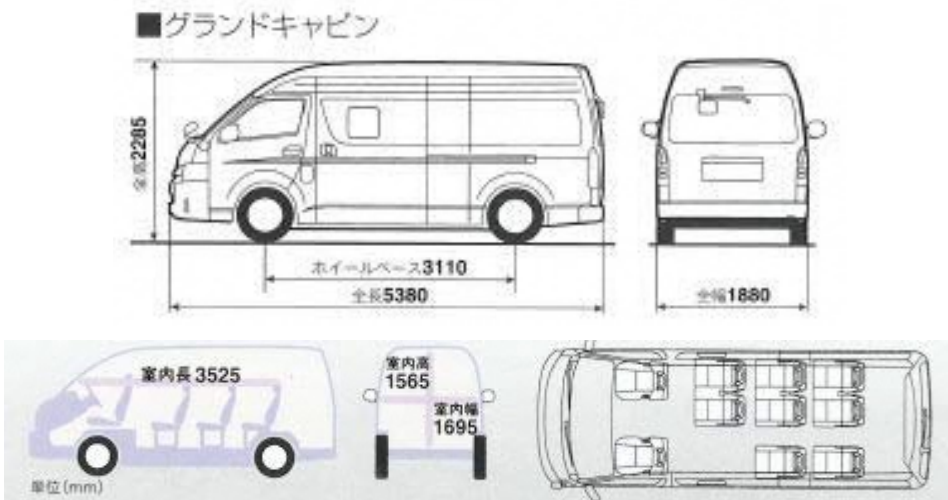
第４０回豊川市地域公共交通会議で、方針として協議済みですが、豊川市コミュニティバスで使用しているジャンボタクシー（１０人乗り：利用者定員９名）は、平成２３年１１月の導入以降、間もなく８年が経過し、走行距離は４０万kmを超え、老朽化による故障も目立つようになりました。そこで順次車両を更新する必要がありますが、今回は、千両三上線、ゆうあいの里小坂井線、御津線の車両を更新します。

当該路線は道が狭い箇所もあり、中・大型バスでの運行は困難であること、また１便当たりの乗車人数等を考慮し、バリアフリー基準の適用除外の認定を受けることで、新規車両に更新して運行します。

なお、バリアフリー基準の適用除外により利用が困難となる車いす利用者については、予備車に基準適合車を配置し、従前同様前日予約をいただき、予約があった場合は予備車を運行します。また、従前より行っている「福祉タクシー料金助成事業」「福祉有償運送」等の他施策により、移動手段の確保を図ります。

（４）導入する車名及び型式

トヨタ ハイエースワゴン CBA-TRH224W １０人乗り



（５）認定により適用を除外する移動等円滑化基準の条項及び内容

第３７条第２項第２号：乗降口のスロープ

第３９条：車いすスペース

第４０条第１項：通路の幅

第４０条第２項：通路の手すりの間隔

第４１条：運行情報提供設備等